令和８年度鎌ケ谷市事務事業評価（事後）報告書

１　はじめに

鎌ケ谷市では、平成１８年度に鎌ケ谷市行政評価実施要綱を制定し、行政評価を本格的に実施しています。

事務事業評価は、「実施計画策定時に実施する事前評価」と「毎年度に実施する事後評価」を実施します。

本報告書は、令和７年度に実施したすべての事務事業評価の事後評価について、その概要をとりまとめたものです。

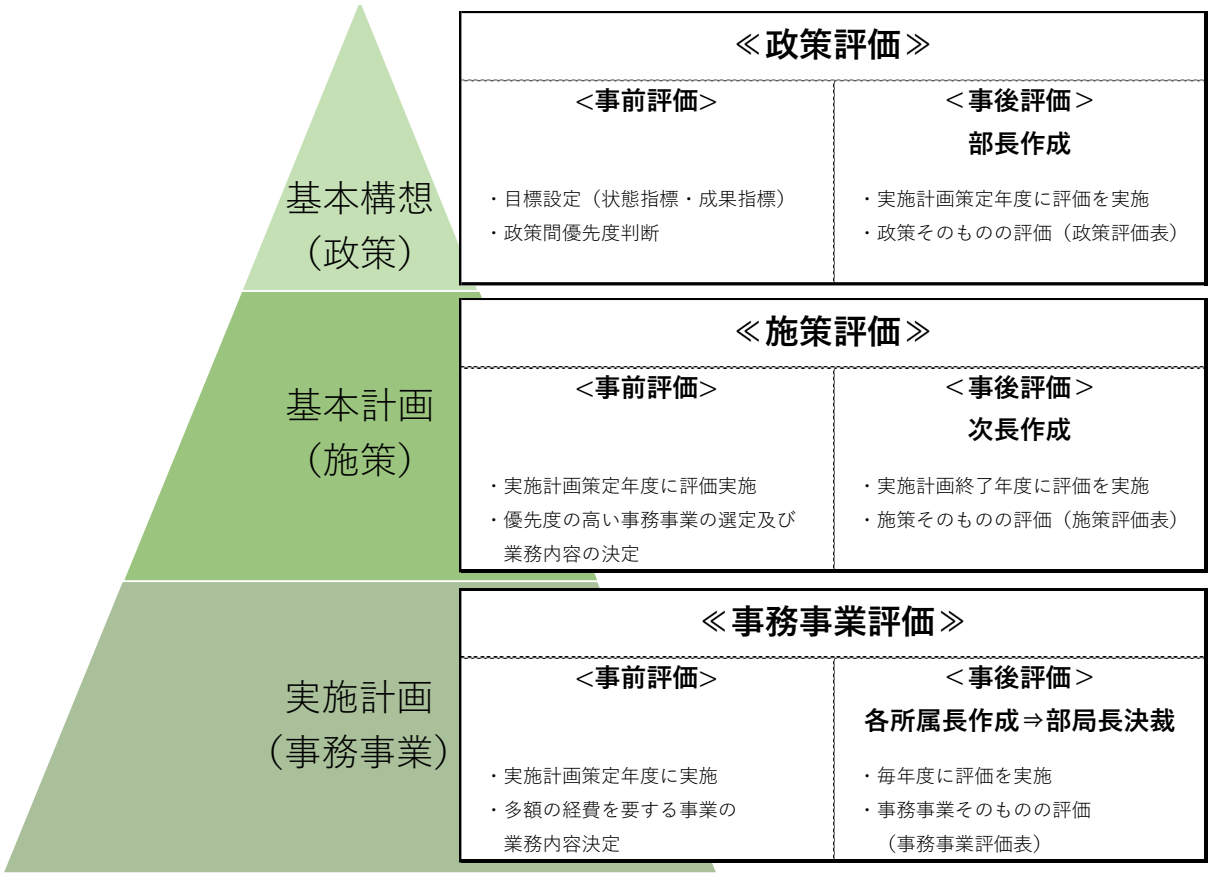
２　行政評価の概要

（１）行政評価の目的

ア　効果的かつ効率的な市政の推進に資すること
イ　行政評価に関する情報を公表すること
ウ　市民に対する説明責任が全うされるようにすること

（２）行政評価の体系

行政評価制度は、事前評価と事後評価に評価時点を分けるとともに、総合基本計画と同様に、「政策評価」「施策評価」「事務事業評価」の３種類に区分して行います。



３　評価対象　　３９２事務事業

令和７年度に執行したすべての事務事業を対象に実施しました。
※令和６年度予算からの繰越事業を含めています。
※予備費、特別職人件費、一般職人件費、議員報酬は対象外としています。

４　作成する事務事業評価表

事務事業評価は、次の評価表に基づき実施しました。

（１）簡易評価表：資料１のとおり

すべての事務事業を対象に作成するもの

（２）標準評価表：資料２のとおり

「すべての多額の経費を要する事業」及び「実施計画（本編）に定める優先度の高い事務事業」を対象に作成するもの

５　評価結果

評価結果は、４つの区分の評価基準（今後の方向性）に基づき実施したところ、次の結果となりました。

評価区分	評価基準	事務事業数	構成割合(%)
拡大・拡充	資源を重点的に配分するもの ※事業規模を拡大して継続 ※状態指標又は成果指標の達成には現状のサービスの供給量では不十分であることから、サービスを拡充する	113	28.8%
精査・検証	資源の配分量を例年程度とするもの ※事業規模を維持して継続 ※現状のサービスの供給量を維持するが、不断の見直しを行い成果の向上を図る	242	61.7%
縮小・統合	資源の配分量を例年と比較して減少させるもの ※事業規模を縮小して継続 ※他の事務事業と統合され事務事業名が削除される場合を含む	16	4.1%
終了・廃止・休止	資源の配分量を０とするもの ※事業が完了した（終了） ※優先度やニーズなどの必要性が低いため廃止（廃止） ※一時休止する（休止）	21	5.4%
合　計		392	100%

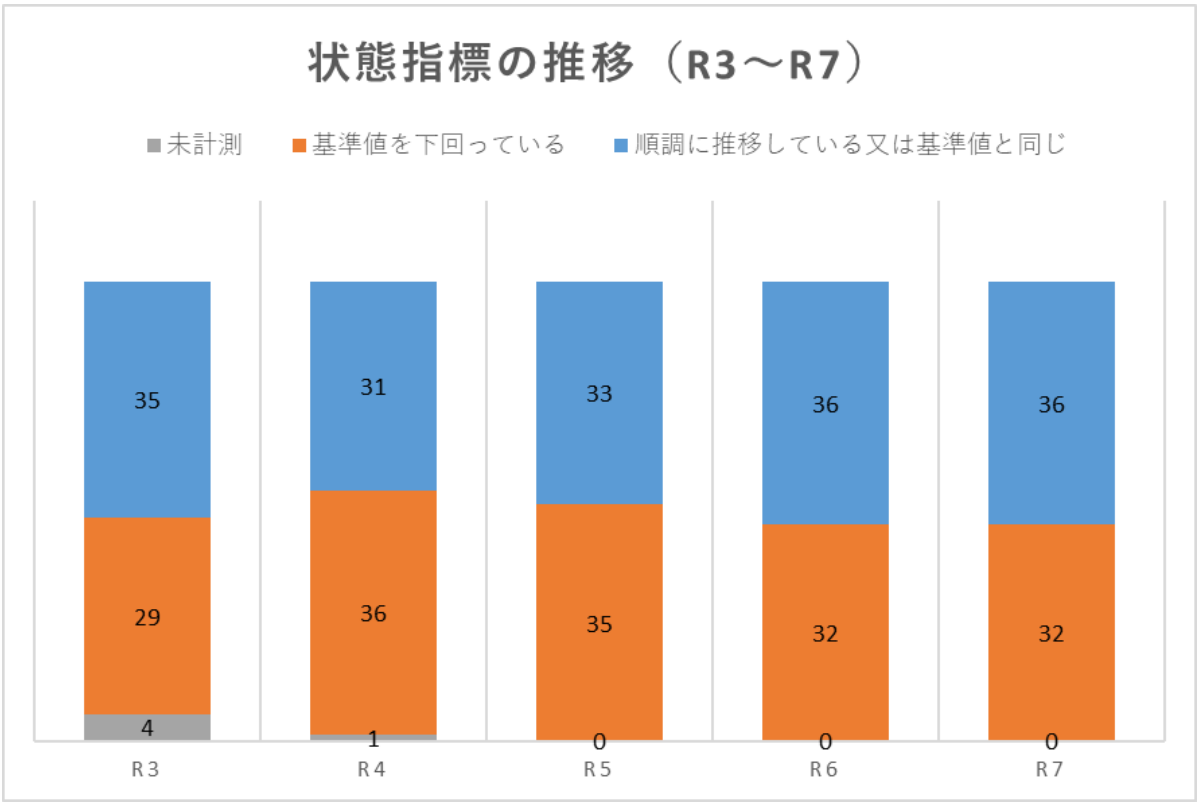
６　総合基本計画（政策・施策）の進行管理の状況

総合基本計画では、施策の「状態指標」及び施策の柱ごとに「成果指標」を設定していますが、事務事業評価の実施に併せて、その達成状況を把握することで、総合基本計画（政策・施策）の進行管理を図ります。

（１）状態指標の達成状況：資料３のとおり

達成状況	評価基準	状態指標数	構成割合(%)
順調に推移している又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値を上回っているもの又は基準値と同じもの	36	53.0%
基準値を下回っている	直近の実績値が基準値を下回っているもの	32※	47.0%
合　計		68	100%

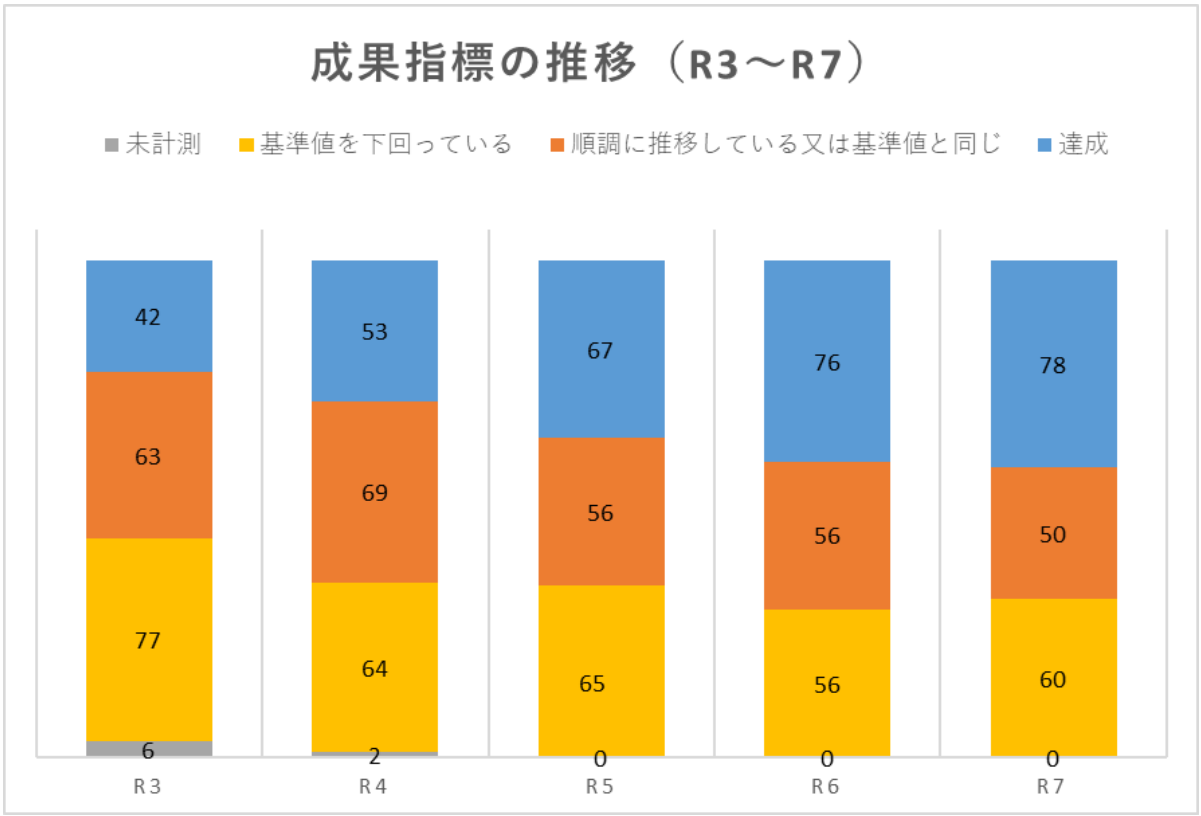
※　３２指標のうち６指標が新型コロナウイルスによる影響に伴い下回ったもの



（２）成果指標の達成状況：資料４のとおり

達成状況	評価基準	成果指標数	構成割合(%)
達成	直近の実績値が令和８年度目標値を既に達成しているもの	78	41.5%
順調に推移している又は基準値と同じ	直近の実績値が基準値を上回っている又は基準値と同じであり、令和８年度までの目標達成が見込まれるもの	50	26.6%
基準値を下回っている	直近の実績値が基準値を下回っているもの	60※	31.9%
合　計		188	100%

※　６０指標のうち７指標が新型コロナウイルスによる影響に伴い下回ったもの



７　今後の取組み

（１）事務事業評価の改善

事務事業評価は平成１８年度から本格実施しましたが、令和３年度にスタートする総合基本計画を踏まえ、新たな制度により実施しました。

今後も、事務事業の更なる向上や分かりやすい公表方法について、継続して検討していきます。

（２）評価結果の活用

評価結果は、次の図のとおり資源配分への活用を推進するため、①まち・ひと・しごと総合戦略、②令和９年度当初予算との連携を強化するとともに、③人事評価制度など各部局における活用を推進します。

【行政評価の活用、連携イメージ図】

≪令和８年度行政評価のポイント≫

（１）評価結果に基づく、資源配分（ヒト・モノ・予算等）への活用推進

（２）後期基本計画、第２次実施計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、
令和９年度当初予算との連携強化

（３）各部局における行政評価の活用推進

【行政評価の活用、連携イメージ図】

